

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和7年3月24日

札幌市立幌南小学校

1 本年度の重点目標

子ども主語をキーワードに「I (アイ) を磨く子ども」を育てる

2 本年度の経営方針

5つの土台(根)を広げる

(①豊かな心の育成、②学ぶ力の育成、③健やかな体の育成、④教職員の資質向上、⑤社会に開かれた信頼される学校)

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども	なりたい自分(目指す姿)や目標を考えている。	B	目標(なりたい姿)を設定し、頑張った成果や成長を実感したり日常生活へつなげたりする関わりを充実させる。	A	A
	自分自身の振り返りや友達の頑張りを生かし、自分で「考え・決め・行動し」ている。	B	毎月自分で生活や学習の目標を立てるカードを活用するとともに、学級で振り返る時間をとることでPDCAサイクルを子ども自身が意識できるようにする。	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> どの学級でも目標を立てることの大切さや子ども自身が意識する気持ちをもてるように指導することが大切。 目標を見付けることは難しいので、そのサポートをしっかりする必要がある。 無理な(急な)目標は立てない。 				

豊かな心	先生や友達に明るくあいさつをしている。	B	全学年で「自分から」「明るい声で」を共通の目標とし、全校での道徳学習や挨拶運動の取組を充実させることにより、あいさつの輪を広げようとする。	A	A
	努力目標をもって行事に取り組み、友達の頑張りを見付けて認めることができている	A	自分の努力目標や友達の頑張りを記すカードを全校で使い、行事に向かう過程を大切にしたり関わりを充実させる。	A	A
	異学年の活動では、他の学年と仲良く活動している。	A	異学年が関わるよさや有用感、達成感が十分感じられるよう活動を工夫するとともに事前・事後指導の充実を図る。	A	A
	けがや事故のないように、安全に気を付けて生活している。	B	具体的な場面やそこに潜む危険を考えさせる関わりや、委員会活動等と連動させ、子ども自身が決まりやテーマを考え広め合う教育活動を行う。	A	A
学ぶ力	学習したことが分かり、習ったことを活用している。	B	「理解」と「活用」を意識した授業改善を行うとともに、学んだことを家庭学習(自学)につなげたり、興味や関心を広げたりする学習の充実を図る。	A	A
	根拠をもち、自分の考えを創ったり、表現したりすることができている。	B	考えの根拠を問う等、子どもが具体的な言葉で考えや理由を表現できるように教師の関わりを充実させる。	A	A
健やかな体	日常的に体を動かす機会が増えている。	B	校内に子どもが思わず体を動かしたくなるような環境整備の充実を図る。全校遊びの日や元気アップ習慣などの重点週間を設定して体を動かすことへの動機づけを行う。	A	A
	日々の学校生活を元気に過ごしている。(心身の健康・体づくりなどの観点から)	B	日課に「わたしタイム」を新設し、子どもの心と体の調子を毎日把握できるようにし、個の悩みに応じた対応がとれる体制を整える。	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> 自分の内面と向き合う「わたしタイム」の活用が楽しみである。 挨拶が少ないように感じる。元気よく挨拶ができるとよい。 せっかくの雪国なので冬期間、山でのチューブ滑りやそり滑りなどがもっとできるとよい。 休み時間に体を動かす遊びや環境の工夫がよくされていて素晴らしい。 				